

生活に潤いを与える 水の表情

生活の身近にある水の空間、その公共空間のデザインにも変化が現れています。

うち寄せる波や川のせせらぎは、人々に安らぎを与え、ヒーリングの効果があると言われています。マイクロクライメイ（微気候）と呼ばれる小さな規模の空間においては、都市の気温上昇を抑制する機能を持っています。

博多湾や那珂川といった大きな空間でなくても、地区の公園や近隣の水辺、居住空間の一部など、水を生活の中に引き寄せることは可能です。池は、本来農業用水を確保したり、洪水に備えたりする市民生活に欠くことのできない役割を持っています。しかし、生活の変化とともにその役割も変わり、最近では人々が水辺を楽しむという新しい



20



17



21



19



18



22

- ①7 西の堤池: 城南区片江
- ①8 平尾大池: 中央区平尾
- ①9 琵琶湖池(琵琶橋公園): 東区香住ヶ丘
- ②0 鳥飼池(友丘公園): 城南区友丘
- ②1 諸岡池: 博多区諸岡
- ②2 大牟田池(茶山中央公園): 城南区茶山
- ②3 那珂川(リボンシティオ): 博多区美野島
- ②4 多々良川(多々良川河畔公園): 東区名島
- ②5 博多川(博多リブレイン付近): 博多区下川端町
- ②6 御島崎海岸: 東区御島崎
- ②7 みなと100年公園: 東区香椎浜
- ②8 博多びあトピア: 博多区築港本町
- ②9 小戸公園: 西区小戸
- ③0 デイキャンプ場(海の中道海浜公園): 東区西戸崎

潤

uruou



24



25



23

役割が与えられています。

老若男女を問わず、人気の高い散歩コースやくつろぎの場に加え、葦原を渡るボードウォークや水面に囲まれた展望デッキ、水辺に続く階段など、水との距離を近づける様々な工夫がなされています。

このような水に親しむ空間整備は、川や海でも取り入れられています。都心近くの港には行き交う船を眺めるスポットが用意され、若いカップルの人気を集めています。博多湾の対岸には、福岡の街を背にして家族とキャンプやバーベキューを楽しむ海辺があります。

このように、都市の中では水が様々な形で生活に関わっています。今回紹介した様々な水達は、都市機能として、また水文化として成熟し、水が彩る都市景観として人々の生活の中に溶け込んで行くでしょう。



ACCESS MAP

